

平成 28 年度 九州中央リハビリテーション学院
自己点検・自己評価報告書

平成 29 年 5 月 31 日現在

九州中央リハビリテーション学院

学院長 河野文夫

教務部長 高濱照

理学療法学科長 藤井浩一

作業療法学科長 山崎孝文

看護学科長 福山貴美子

介護福祉学科長 野島謙一郎

事務長 石崎聖英

< 目 次 >

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

1-1 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想について

基準2 学校運営

2-2 運営方針は定められているか 2-3 事業計画は定められているか

2-4 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか 2-5 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

基準3 教育活動

3-6 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

3-7 カリキュラムは体系的に編成されているか 3-8 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

3-9 授業評価の実施・評価体制はあるか 3-10 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

3-11 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 3-12 資格取得の指導体制はあるか

基準4 教育成果

4-13 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか 4-14 資格取得率の向上が図られているか

4-15 退学率の低減が図られているか 4-16 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

基準5 学生支援

5-17 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか 5-18 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

5-19 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

5-20 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

5-21 卒業生への支援体制はあるか

基準6 教育環境

- 6-22 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 6-23 防災に対する体制は整備されているか

基準7 学生の募集と受け入れ

- 7-24 学生募集活動は、適正に行われているか
- 7-25 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

基準8 財務

- 8-26 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 8-27 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 8-28 財務について会計監査が適正におこなわれているか

基準9 法令等の遵守

- 9-29 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 9-30 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 9-31 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

基準10 社会貢献

- 10-32 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念・目的・育成人材像 特色 将来構想</p> <p>理念・目的・育成人材像については、その都度、見直しを行っている。少子化や入学希望者の減少の中定員を確保するために、入学者の学力の低下が懸念される中今後もその時代、学生の資質に応じた見直しが必要となってくる。</p> <p>また、これらは学院のホームページや学院案内、学生生活のしおりに掲載し公開している。</p> <p>教職員についても定期的なFD研修会を開催し策定した目標等を達成出来るよう教育力の向上に努めている。</p> <p>将来構想については、入学者数の減少並びに学力の低下に加えて1年次の退学者の増加が懸念されており、授業の進め方等各学科工夫を行っている。</p>	

最終更新日付	2017/5/26	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

1-1 理念・目的・育成人材像、特色、将来構想等について

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	学院案内・ホームページ・学生生活のしおりに明記している。	特になし	学院案内 ホームページ 学生生活のしおり 年報
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	4	学院づくり指針・教育指針・職員行動指針を運営方針として策定し、これに基づき学科方針を作成している。また、アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを各学科ごとに策定している。	特になし	学院案内 ホームページ 学生生活のしおり 年報
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	4	開校当時から引き継がれている。	現在のところ、変更する必要性がないと思われる。	学院案内 ホームページ 学生生活のしおり 年報
1-1-4 学校の特色として挙げられるものがあるか	4	知育・体育・徳育を基本理念として掲げ、医療人としての感性豊かな人格形成を目指している。	特になし	学院案内 ホームページ 学生生活のしおり 年報
1-1-5 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	3	少子化による入学者数の減少が加速し、それに伴う入学生の資質の変化が予想される。	新入生確保と在校生の資質向上の為の具体的方法について検討している。	

*5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学院の基本理念・目標・運営方針は開校時に策定されており、学院案内（パンフレット）や年報等に明記している。その理念、目標達成のため学科ごとに方針を定めて運営されている。	

最終更新日付	2017/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
<p>運営方針 事業計画 意思決定 人事 賃金</p> <p>運営方針は学院の方針とは別に各学科においても単年度の運営方針を定め、前年度の総括も行っている。運営方針はホームページ並びにパンフレット、学生に配布する学生生活のしおりに記載している。事業計画（学生募集、広報活動、退学・留年者対策等）については策定、共有され、理事会に諮り承認されている。</p> <p>組織運営や意思決定機能については、適切に運営されており意思決定機能についても定期的な会議を開催し運用されている。</p> <p>処遇に関する制度については各種規程（就業規則、給与規程、育児介護休業規程、退職金規程等々）は整っている。</p> <p>今後の課題として人事考課制度の導入について検討しなければならない。</p>			
最終更新日付	2017/5/31	記載責任者	石崎聖英

2-2 運営方針は定められているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
2-2-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	5	学院パンフレット p7に運営方針が記載されている。また、学生生活のしおりにも記載している。 ・学院づくり指針 ・教育指針 ・職員行動指針	特になし	学院パンフレット 学生生活のしおり ホームページ
2-2-2 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	4	職員掲示板のファイル管理で就業規則、給与規程等の諸規定を閲覧できる。	諸規定の見直しも進められている	職員掲示板 ファイル管理<規程・規則>

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針の内容は<学校づくり指針><教育指針><職員行動指針>と分けて明記している。パンフレット並びに学生生活のしおり、学院ホームページ上にも記載されており、教職員だけでなく学生や外部への情報発信も行っている。各種規程に関しては順次見直しを図っている。	

最終更新日付	2017/5/31	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

2-3 事業計画は定められているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
2-3-3 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	4	事業計画（学生募集・広報活動や退学者・留年者対策等）は策定され理事会・評議員会で審議されている。	事業計画は策定されているが教職員への情報の共有が今後の課題である。近年、学生数が減少傾向であるが、事業内容をより一層充実するよう努めている。	理事会・評議員会資料
2-3-4 学校は事業計画に沿って運営されているか	4	各学科とも事業計画に沿った形で目標設定を行っており、前年度の反省見直しも実施している	情勢によりズレが生じた時の対応が課題となる。	職員掲示板各学科目標 理事会・評議員会資料

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集から広報活動、退学者、留年者の状況等前年度の反省から事業計画を策定し一部可視化されている。 各学科においては年度ごとに目標設定を行いその反省見直しにより新年度の目標を設定し、会議の場で発表を行っている。	

最終更新日付	2017/4/10	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

2-4 組織運営や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
2-4-5 運営組織図はあるか	5	毎年度運営組織図を作成し教職員が閲覧できるように通達もおこなっている。	なし	平成 28 年度運営組織図
2-4-6 意思決定機能は効率的効果的に確立されているか		意思決定者あるいは意思決定組織の役割等明確になっている。		組織図 職務分掌 会議議事録
2-4-7 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか		理事会、評議員会、運営会議、各種委員会等の意思決定組織が存在し、定期的開催されている。	開催日時、回数等実情に合わせて改善していく必要がある	会議議事録
2-4-8 業務効率化を図る情報システム化がなされているか		教職員が共通使用できる専用サーバの開設により、より早く情報を共有でき効率的である。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
運営組織図は適切に作成されており、学校の目的並びに目標を達成するために効率的なものになっている。また、各学科の職務分掌も作成されてきている。一部職務分掌の見直しも必要と感じる。	

最終更新日付	2017/4/10	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

2-5 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
2-5-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	3	各学科教員を講習会に参加させるなどして人材育成を行っている。 また、FD を毎月実施しており、学院全体で意識の統一を図っている。	明確な人材像や採用基準がない。	各講習会の証明書等 年報 FD 委員会計画書
2-5-10 採用制度は整備されているか	3	学校教育法に定められた人員を、必要に応じて募集している。	必要時に募集するという性質から、規定は整備されていない。	
2-5-11 人事考課制度は整備されているか	3	大学院で受講している教職員の把握や学会等の参加状況を把握し、また教育効果の結果として国家試験合格率を把握している。	今後明確な人事考課制度の作成が必要である。	
2-5-12 賃金制度は整備されているか	4	給与規程・退職金規程は閲覧できる。	人事考課制度と昇進・昇格制度との関連付けまでに至っていない。	給与規程 退職金規程
2-5-13 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	5	現教職員一覧は情報共有システムで一元管理を行っており、常に最新の状態に保たれ、全員が閲覧可能である。	特になし	教職員名簿・非常勤講師名簿

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
給与規程等はあるが、明確な昇進・昇格制度や人事考課制度を整備する必要がある。	

最終更新日付	2017/5/24	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

基準3 教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>1. カリキュラムについて カリキュラムは業界の人材ニーズレベルに到達するために十分な内容であり、かつ体系的に構成されている。 全学科とも教育課程編成委員会を年に2回開催し、外部委員の意見を取り入れている。 臨床実習においては臨床実習指導者会議をそれぞれの実習で年に1回開催し外部の意見を取り入れている。</p> <p>2. シラバスについて 各学科ともシラバスを作成し、各科目の指導内容、評価方法など年度初めに学生に提示している。</p> <p>3. 授業評価 前期および後期末に全科目に対して学生による授業評価を行っている。 年に2回学校関係者評価委員会を開催している。</p> <p>4. 教員の専門性 各学科ともに教員の専門性レベルは業界レベルに十分対応している。 非常勤講師についても専門性の高い人物を選んでいる。</p> <p>5. 成績評価および単位互換について 各科目の成績評価方法はシラバスに記載されている。本試験終了</p>	<p>教育課程編成委員会は当学院の委員3名と各学科の分野で、現在臨床で活躍されている有識者2名の委員とで構成されている。原則として、前期と後期の修了時に開催される。</p> <p>各科目のシラバスには資料や動画を添付する欄があり、学生はそれらをダウンロードできるようになっている。</p> <p>学校関係者評価委員会は学校に関係している外部の有識者4名よりなっており、学院で作成された自己点検・自己評価を参考にして外部より学校評価を受けている。</p> <p>専任教員においては、専門性のさらなる向上のために学内でFD研修会を月に2回開催している。また学外での学会発表や研修会等には積極的に参加するようにしている。</p>

後に成績判定会議を開催し成績の決定を行っている。
他の高等教育機関との間に単位互換を行う制度がある。

6. 目標とする資格とカリキュラムの関係

各学科とも、目標とする資格を取得するために適切なカリキュラムとなっている。

7. 資格取得の指導体制

理学療法学科、作業療法学科、看護学科においては国家試験対策の指導は十分な時間をかけて行われている。

介護福祉学科では卒業と同時に国家資格を取得できるので国家試験は受けないが、質を保証するために、卒業時全国共通試験を受験している。

しかし、平成 28 年度の入学生より国家試験受験資格を得るため、卒業時共通試験対策と合わせて準備をしている。

単位互換には明確な基準があり、各学科で毎年新入生と転入生数名に対して単位認定を行っている。

各学科とも、カリキュラムは資格取得のみならず、卒後に現場で働くための必要不可欠な実践的内容を含んでいる。

一昨年度より、卒業試験対策として、介護福祉士国家試験模擬試験を 2 回実施し、全国での自己学習力の見直しに力を入れている。

最終更新日付

2017 年 6 月 30 日

記載責任者

高濱 照

3-6 教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

3-7 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	* 点検 の 進 み 合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-6-1 教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	5	本年度各学科のアドミッションポリシーが提示された。 2～4年間の教育課程であり、国家試験合格の基準を上回るレベルに到達可能である。 臨床的な知識・技術・人間性に関しては、臨床実習指導者会議で検討している。	これまで通り、国家試験の分析や臨床現場との意見交換などをきちんと行なっていく必要がある。	シラバス 国家試験分析データ
3-7-2 カリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	5	基礎科目充実、演習科目・実習時間の増加、臨床実習、研究における研究発表・論文作成の流れとなっている。	定期的な見直しが必要である。	シラバス
3-7-3 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	5	臨床実習指導者会議や教育課程編成委員会において外部からの意見を取り入れている。	特になし	シラバス

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムは社会情勢や業界ニーズを考慮し作成されている。毎年教員間で話し合いを行い、最終的には教育課程編成委員会に諮ることで、よりよいカリキュラムへと変更を重ねている。 本年度各学科のアドミッションポリシーが提示された。	各学年で演習を多く取り入れ、ディスカッションの機会を多くした。最終学年では研究等にて班活動の時間を長くして自主性が育成されるよう考慮した。

最終更新日付	2017/4/26	記載責任者	藤井浩一
--------	-----------	-------	------

3-8 各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-8-4 各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	ボトムアップ方式で単位修得が可能なように適宜見直しを行っており、昨年度も作業療法学科の見直しを行い、本年度から新教育課程に移行した。今後もベストなカリキュラム構成に向けて工夫を継続して行く必要がある	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会の意見も聞きながら、今後もさらに各科目が、カリキュラムの中で適正な位置づけになるよう努める。	各学科の教育課程一覧
3-8-5 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	5	シラバスを各学科、各科目毎に授業開始前にホームページ等で公開している。	特にない。(現状の継続)	シラバス 学院ホームページ
3-8-6 各科目の1コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	シラバスを各学科、各科目毎に授業開始前にホームページ等で公開しているが、1コマ毎の詳細さについては完璧ではない。	1コマ毎の記載内容の充実を図る。	シラバス 学院ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
シラバスは事前に作成され公開もしているが、1コマ毎の記載内容の充実は、さらなる検討と努力を必要とする。	シラバスに授業のスライドや資料を貼り付け、学生はシラバスよりダウンロード可能となっている。 平成29年度より理学療法学科及び作業療法学科の学生はi-Padを1台ずつ所有し授業で活用することとしたので、より有機的なリンクを考えていきたい。

最終更新日付	2017/4/26	記載責任者	山崎孝文
--------	-----------	-------	------

3-9 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-9-7 学生による授業評価を実施しているか	4	授業終了後に必ず、各科共通の評価表を活用し実施している。また、より細やかに毎回の授業終了毎に評価している。	授業の評価に基づく、学生の学力の向上に効果的繋がっていない。 ⇒評価項目の見直し ⇒評価時期の見直し	学生の授業評価
3-9-8 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	4	各学科毎、教育課程編成委員会を2回/年開催している。	継続していく。	委員会議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
授業評価は、必ず実施している。現状では、授業の最終評価であり、得られた評価をその学生達に還元できていない。授業の中での評価を行いながら、結果、評価がその学生達の学力向上に直結できるように改善していく必要がある。	

最終更新日付	2017/5/1	記載責任者	福山貴美子
--------	----------	-------	-------

3-10 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	*点 検の 進み 具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-10-9 学生の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	4	各教員の職務履歴、学会発表数、専門雑誌への掲載数、専門分野の講習会・研修会参加や学生からの評価、臨床現場からの評価など、研修会参加を継続していく。	今後も研究、研修会参加を継続していく	教職員履歴書 年報 学院 HP 授業評価表
3-10-10 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	4	各分野の専門領域を学んだ教員がおりまた、非常勤講師においても臨床での研修会への参加など継続参加が必要である。	教員の研究の推進、研修会への参加などの継続が必要である	年報 学院 HP 学会抄録集 論文掲載雑誌 研修会参加報告書
3-10-11 教員の専門性を向上させるため、外部研修会への参加、学会発表等、学術的取り組みが行われているか。	4	専門分野の研修会参加の機会をみつけ、積極的に参加していく。学院内の研修会としてFD委員会により、年に8回程度の研修を行っている。 各教員の病院での研修や教員研修会、理学療法講習会などに参加して		年報 学院 HP 学会抄録集 論文掲載雑誌 研修会参加報告書
3-10-12 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	3	教員の教授力の評価体制がない	教授力に関する評価方法を検討する必要がある。	

点検小項目	*点検の 進み具 合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-10-13 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	4	学科会議や運営会議で研修会報告が行われている。	今後も教授力向上のための研修会に積極的に参加する。	学院案内 学院 HP 学生生活のしおり シラバス
3-10-14 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	4	毎朝の朝礼や学科会議における情報交換を行い、介護総合演習や介護実習の科目では、専任教員による協業体制をとっている。	さらなる情報の共有化が必要である。非常勤講師を含めた講師会儀等の開催も検討する。	学院案内 学院 HP 学生生活のしおり シラバス
3-10-15 非常勤講師の採用基準は明確か	4	厚生労働省の規定規則にしたがっている。専門性の高い人物を採用している。	特になし。	厚生労働省の指定規則

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
専任教員の人数、資格、専門性、人間性については満足できる状況であるが、教授力についての評価は行われていない。非常勤講師選定の基準は、厚生労働省の指定規則にしたがって選定しており、専門性の高い人材を選んでいる。	

最終更新日付	2017/5/1	記載責任者	野島謙一郎
--------	----------	-------	-------

3-11 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	*点 検の 進み 具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-11-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	各科目の成績評価方法はシラバスに記載されている。 本試験終了後に成績判定会議を開催している。 各教科の難易度については学科会議にて検討している。	特になし	学則 シラバス 成績認定会議議事録
3-11-17 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	5	入学時に提出された成績証明書およびシラバスをもとに単位認定会議で決定している。	特になし	学則 単位認定会議議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・単位認定の基準は明確である。各教科の難易度、評価の客観性については定期的に検討している。 他の高等教育機関との間の単位互換は適切になされている。	

最終更新日付	2017/4/26	記載責任者	藤井浩一
--------	-----------	-------	------

3-12 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-12-18 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	5	各学科で目標とする資格はカリキュラム上でも明確に定められており、かつ国家試験受験資格を十分満たしている。	特になし。(現状の継続)	学則 教育課程 シラバス 学院案内 学院ホームページ
3-12-19 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	5	国家試験受験資格について基礎科目から専門科目まで厚生労働省の指定規則を十分満たしている。 また、各学科で基幹の国家資格以外に福祉住環境コーディネーター、認知症ライフパートナーなどの資格取得もカリキュラムの中で目指している。	基幹の国家資格及びその他の資格取得についても、教育内容が十分か適宜検討を図り、改善していく。	教育課程 シラバス

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
国家試験の動向も注視して、適宜検討と見直しを図ってきた。 今後は、これに加え学生の状況に照らして、可能なら関係資格の充実を検討していく。	各学科の国家資格取得に加え、関係資格の習得にも力を注いでいる。

最終更新日付	2017/4/26	記載責任者	山崎孝文
--------	-----------	-------	------

基準 4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>1. 国家試験合格率の向上に対する取り組みについて</p> <p>今年度の各学科の国家試験合格率（新卒）は以下のとおりである。</p> <p style="padding-left: 20px;">理学療法学科：98.6%</p> <p style="padding-left: 20px;">作業療法学科：100%</p> <p style="padding-left: 20px;">看護学科：100%</p> <p>国家試験合格率向上の取り組みとしては、理学療法・作業療法学科では、10月末からまず基礎科目である解剖生理学や運動機能学等の復習を徹底して行った。その後専門科目全科目のまとめを行った。いずれもグループで勉強を行った。学生より希望があった科目については専任教員が特別講義を行った。また模擬試験を行い、成績不振者に関してはマンツーマンで指導を行った。</p> <p>勉強の進度に合わせて、学内で作成した模擬試験と業者より購入した模擬試験を行った。</p> <p>看護学科では各年度で保護者会を行っているが、それに加えて国家試験前には3年生全員に対して保護者を含めた三者面談を行っている。さらに成績不振者には個別指導を行い、状況によっては再度三者面談を行った。</p> <p>介護福祉学科では卒業とともに資格が取れるので現在国家試験を</p>	<p>国家試験合格率全国平均（新卒）</p> <p style="padding-left: 20px;">理学療法士：96.3%</p> <p style="padding-left: 20px;">作業療法士：90.5%</p> <p style="padding-left: 20px;">看護師：94.3%</p> <p>業者模試に関しては、学内と学外（熊本大学）で行った。</p> <p>来年度からは国家試験を受ける予定なのでそのための準備を行っ</p>

受けていないが、卒業時に全国共通試験が行われている。この共通試験を卒業試験として指導した。今年度は共通試験に対して、カリキュラムと別に受験対策を行い、全員 70 点以上の良い成績で合格した。

2. 進級率向上への取り組みについて

毎年進級率が低いのは、理学療法・作業療法学科の 1・2 年生である。以下に今年度と昨年度の進級率を記す。

		今年度 (%)	昨年度 (%)
理学療法 (昼)	1 年	81	80
	2 年	94	91
理学療法 (夜)	1 年	70	78
	2 年	97	82
作業療法	1 年	84	78
	2 年	94	91

昨年度は一昨年度に比べて進級率が大幅に向上したが、今年度は昨年度と比べ大きな変化はなかった。

昨年度取り入れた欠席遅刻連絡システムに加えて、昼間部 1 年生に対しては解剖生理学 I の復習会を行った。復習会のやり方は解剖生理学の授業始めに小テストを行い、満点の 1/3 以下の学生に対して半強制的に行うという方法である。

しかし、昼間部 1 年の進級率には変化がなかった。復習会には希望者が参加してもよいことになっていたが、成績不振者に絞った方がよかったかもしれない。次年度に検討する。

ている。

欠席遅刻連絡システムとは、学生が欠席した場合に、欠席を知らせるメールが学生本人、保護者、担任の 3 人に届くシステムである。昨年度に導入し、進級率の向上に効果があったと考えられる。

来年度は ipad を用いた ICT 教育を行う予定もあるので、進級率向上の期待を持っている。

最終更新日付

2017 年 6 月 30 日

記載責任者

高濱 照

4-13 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
4-13-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	実習先を中心に病院・施設の人事担当者様に來ていただき就職説明会を実施している。元県立高校校長による履歴書添削や面接指導も個別に行っている。	就職先を決めかねている学生に対しては、学生毎に合った就職先の提案を行っている。職業意識の希薄な学生が増加しており、教員との面談も含め、日常的な指導が必要である。	求人票一覧 教務ソフト、ホームページなどの求人情報
4-13-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	過年度分と当年度分両方の就職データを教務システムに入力し蓄積している。	特になし	学院案内 教務システム 保護者説明会資料

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
実習先を中心に就職説明会を実施している。また、担任・就職担当教職員を中心に面談を実施し就職活動のサポートを行っている。	新たな求人票が来る度に WEB へアップロードし、実習中でも情報端末で求人票を閲覧できる。また就職先のより詳しい情報を得るために各病院・施設のパンフレット等も地域別にファイリングし、図書室でいつでも閲覧可能な状態にしてある。

最終更新日付	2017/5/24	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

4-14 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
4-14-1 資格取得率の向上が図られているか	4	国家試験の合格率が安定している ・理学療法学科：98/6%（全体94・6） ・作業療法学科：100% ・看護学科：100%（全体100%） また、不合格者（リトライ）学生対策も 責任もって資格取得に繋げている。	継続していく。	国家試験合格率
4-14-2 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	把握している		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学科国家試験の傾向も大きく、変化しており、確実に「全員合格」させるためには、国家試験対策はもちろん学生のモチベーションをいかに維持させていくかも重要なカギとなる。教育方法のみならず、今後ますます教員と学生の信頼を深め、確実な資格取得にむけとりくんで行く。	

最終更新日付	2017/5/1	記載責任者	福山貴美子
--------	----------	-------	-------

4-15 退学率の低減が図られているか

点検小項目	*点 検の 進み 具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
4-15-3 退学率の低減が図られているか	3	成績の確認や出欠状況を確認し、担任・学科長が学生と個別に対応をしている。場合によっては保護者とも面談を行っている。また、経済的支援（奨学制度等）も紹介している。 出席状況は保護者へもメール配信を行い、情報開示を行うことで、家族での意識改善を図っている。	退学の理由は多岐に渡っていることと、多重であることから、全ての問題解決は困難と思われるが、早期の情報収集や対応を行う必要がある。	年報 学科会議議事録
4-15-4 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	3	朝礼や学科会議で常に学生の現状報告があり、全教員が把握している。退学に関する状況は事務部より全員にメール配信されている。	特になし	年報 学科会議議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全教員で退学者数の低減に向けて努力している。しかし、退学の理由は経済的、心理的、家庭的な問題を含め多岐にわたるので、すべてに対応することは困難であるが、できる限り学業が続けられるように支援している。	常に個別面談ができる環境をつくっており、担任、学科長と面談をする。また、保護者への連絡も随時行っている。

最終更新日付	2017/5/1	記載責任者	野島謙一郎
--------	----------	-------	-------

4-16 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
4-16-5 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	5	在校生の活躍は学科会議の報告にて把握している。卒業生は同窓会、学会誌、職場等の情報をもとに把握している。	特になし	教員会議議事録 年報 学院案内 学院 HP
4-16-6 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	5	在校生は専修学校体育大会で表彰された。 卒業生においては各学会等での発表を積極的に行っている。	特になし	教員会議議事録 年報 学院案内 学院 HP

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
社会的評価については高等学校・卒業生・臨床現場等からの意見をもとに把握している。卒業生においては学会発表数の増加が目立っている。	

最終更新日付	2017年4月26日	記載責任者	藤井浩一
--------	------------	-------	------

基準5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>1. 学生の相談に対する対応</p> <p>学生の生活相談には担任が対応する。担任が解決できない場合は他者に依頼する。たとえば、学業に関する相談には、その教科の担当教員に指導を依頼することがある。</p> <p>また、心理的な疲労や精神的に異常が生じた学生には学院の専用カウンセラーに依頼する。学生本人が直接カウンセラーに相談するようにしている。</p> <p>2. 保護者への連絡</p> <p>全学科とも入学式の日に入生の保護者会を設け、前年度の実績や入生の年間スケジュール、時間割などについて説明を行っている。</p> <p>授業開始後、欠席が多い学生や小テスト等の成績不良の学生には、場合によっては保護者、担任、学科長を含めた4者面談を実施している。</p> <p>全学科とも前期末と後期末には成績表を保護者宛に送付している。</p> <p>看護学科では各学年ごとに保護者会を設けて、全学生の保護者と面談を行っている。さらに成績不振の学生には個別に三者面談を行っている。</p> <p>各学科とも、学生の欠席が多かったり成績不良の場合はできるだけ早期に保護者へ連絡し、状況次第では三者面談を行うようにしている。</p>	<p>学生が自主的に相談に来るとは限らないので、担任は学生の状況を把握し、出欠状況や成績不振の学生には声をかけるようにしている。</p> <p>理学療法学科と作業療法学科では欠席・遅刻メールが保護者の携帯にも届くようになっている。</p>

3. 卒業生との関わり

卒業と同時に全員「同窓会」に加入している。
年に数回、同窓会主催で勉強会が開催されている。
卒業生の研究で学院の研究機材を使用することもあり、研究内容の相談も受けている。

また、国家試験に不合格だった卒業生は学院の部屋や図書室を利用して勉強できる。さらに、10月からの4年生の国家試験勉強に参加することができる。授業料は不要である。

最終更新日付

2017年6月30日

記載責任者

高濱 照

5-17 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
5-17-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	学生に対し、就職先となる病院施設とのマッチングを始め、求人情報の即時共有、悩み相談など細やかな就職指導を実施している。	学生への情報の周知において、学生自身の就職への意識が低く、情報にアクセスしないままということがある。 日常的に職業意識について教員が指導を行なう。	教務システム 学校基本調査 看護師等養成所報告管理システム 求人票一覧
5-17-2 就職に関する説明会を実施しているか	4	7月と10月、最終学年の長期実習の合間に説明会を実施している。	学生に就職先の希望が無く、学校側から見学先を指示するなど客体性が強い。就職面で主体的な考えを抱けるよう、教員が日常的な指導を行なう。	年報、年間行事予定表
5-17-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	4	必要に応じて、学生から申告があった場合に実施している。	面談の必要性や履歴書の書き方など、一般常識マナーに学生間で理解度の乖離が大きい。普段から教員・職員が規範を示していく。	なし
5-17-4 就職に関する情報を学生に迅速に提供しているか	5	クラウドサービスを利用し、迅速に求人情報を提供している。	重複となるが、学校から提供される情報について、学生自身が重要度を低く見る傾向があり、アクセスしないことが多い。積極性をもった就職活動を行なうよう、周知していく必要がある。	WEB シラバス

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
求人票は PDF データに変換して-googleサイトにアップロードしパソコン、スマートフォンで自由に閲覧できるように管理している。希望する就職先があれば担任が個別対応するとともに、履歴書の添削や面接指導も個別で行っている。また毎年病院・施設の担当者に来ていただき就職説明会を実施しているが求人時期が早まってきているため、平成28年度からは年に2回開催する。	学校の増加に伴い就職に関して競争の激化が予想されるため、できるだけ早い時期に就職説明会を行い、履歴書の書き方や面接指導等、更に丁寧な個別指導が求められる。

最終更新日付	2017/5/24	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

5-18 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点 検の 進み 具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
5-18-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5	①担任制の導入（学科により副担 みも導入） ②学生からのメール相談、電話相 談、来室相談に対応できるスクール カウンセラーの導入	特にない。（現状の継続）	職員名簿
5-18-6 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	5	学生からのメール相談、電話相談、 来室相談に対応するスクールカウ ンセラーがいる。	特にない。（現状の継続）	職員名簿
5-18-7 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	5	今年度、ベトナムから1名の留学生 が入学した。担任はもちろん、ベト ナム語の解る職員を関連企業から週 1回派遣して頂き、相談にあたっ た。	次年度、国際介護学科新設 に伴い、対応を検討する必要 がある。	
5-18-8 保護者と適切に連携しているか	5	①各学科 欠席・遅刻等が続いた 学生については、担任から連絡を入 れ情報交換を実施、また理学療法学 科及び作業療法学科については、学 生の動向（欠席・遅刻・早退）を 知らせるメールが保護者携帯に届くシ ステムを確立しており、効果が出 た。 ②各学科 定期的保護者会の開催 ③各学科 前期・後期成績不良学 生について保護者召喚	特にない。（現状の継続）	保業者連絡システム

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者との連絡については、必要十分の措置が出来ている。	欠席・遅刻・早退連絡メールシステムの構築

最終更新日付	2017/4/26	記載責任者	山崎孝文
--------	-----------	-------	------

5-19 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
5-19-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	5	毎年担任が学生と個別面談を行い、経済状態などはある程度把握している。	教職員間で情報を共有し、よりよいサポートができるように努める。	学生調査書 会計記録（学納金）
5-19-10 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	5	特待生制度・学費分割納入制度・学費一部免除制度や災害時学費減免制度など学費のサポートは行われている。	学生が相談しやすい環境づくりに努める。	学費分割制度 学費免除制度要項 会計記録（学納金）

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経済的な面についてのサポート体制は万全であると思われる。 また、家計急変時における学納金納付が困難な学生に対してあらゆる免除制度を導入して、学生の立場に立ち安心して修学できるように努めている。	

最終更新日付	2017/4/28	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

5-20 学生の健康管理、生活サポートを担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
5-20-11 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	5	毎年健康診断は行っている。また各学科の建物に、保健室が設置されている。さらに、スクールカウンセラーによる学生相談もおこなっている。	今後も学生の心と体の健康管理に十分留意し支援を行う。	健康診断票 学院案内 学生生活のしおり
5-20-12 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	5	各担任を主として、相談等があれば医師免許・看護師免許をもつ教職員が対応する。	今後も学生の相談に対応できるよう職員全体で支援していく。	学校基本調査 各教員の履歴書(免許) 学生生活のしおり
5-20-13 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	4	毎年学生団体設立・内容変更届と所属者一覧を提出させて、顧問の各教員が把握している。また、金銭面では後援会からの支援がある。	運動場を整備し、活動の場所として提供している。 しかし、部室等の支援が課題である。	学生団体設立・内容変更願 学院外活動申請書 学生生活のしおり 学院案内
5-20-14 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3	熊本駅に近いので、学生寮等の支援は行っていない。 しかし、問い合わせがある場合は不動産会社等の紹介は行っている。	現在はそれ程必要性を感じていないが、今後ニーズが増加すれば考えていく。	学生調査書 教務システム【学籍管理】

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学生の健康管理は、毎年健康診断をしており、各学科担任制をとっていることで学生の心配事や健康相談などにすぐ応じることが出来ている。</p> <p>また、スポーツ活動等における支援体制も各クラブ毎年登録をさせるため、各顧問が把握でき支援出来ている。</p> <p>学生寮に関しては、当学院は交通の利便性が高く、近くにアパート等が多数あるため整備していない。</p>	

5-21 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
5-21-15 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	3	学院として一つの組織として各学科合同で運営されている。また、卒業と同時に新会員として運営に参加していくしくみもできている。	学科毎に運営に関わるメンバーの参加状況に温度差がある。 看護学科が認識が低い。女子学生が多いことも一因だが、特に地元就職をしている学生を中心に活動を促していく。	
5-21-16 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	4	整備されており、機能している。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学科内における卒業生に対する支援は、年々確実なものとなっている。一方、全体としての活動の差は否めない。学科毎の在学期間も異なり、同窓意識に違いが生じることは、理解できなくもない。今時の若者の特性を踏まえ、まずは在学期間で仲間意識を育てる、より具体的なしくみ創りも必要である。	

最終更新日付	2017/5/1	記載責任者	福山貴美子
--------	----------	-------	-------

基準6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育に関する施設・設備について整備されている。</p> <p>学外実習はカリキュラムに定められており、外部の実習病院・施設との連携も十分になされている。今年度も学外実習は、カリキュラム通りに実施されている。</p> <p>海外研修については行っていない。</p>	<p>実習前には実習指導者に学院へ来ていただき、実習指導者会議を実施している。</p> <p>実習中には、実習病院・施設を必ず1度は訪問するようにしており、実習先とのコミュニケーションも十分にとれている。</p>

最終更新日付	2017年6月30日	記載責任者	高濱 照
--------	------------	-------	------

6-22 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
6-22-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	学生が快適かつ学習に専念できるように整備している。 また、新設当初から教室以外の設備に力を入れている。	毎年設備点検をしているが、学生数の変動にその都度対応していく必要がある。 今後、学生に満足度調査等を行いより良く改善していく必要がある。	備品台帳 学院案内 学生生活のしおり
6-22-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	4	毎年、設備点検を実施している。 また、日常的に巡回しその都度必要な整備をしている。	今後も毎年点検を行い、メンテナンス体制を整えていく。	巡回日誌
6-22-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	3	定員の増員に伴い必要に応じて改善している。	1 番古い建物は 10 年以上になる為、必要に応じ、今後計画的に更新していく。	学院案内

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備は教育上の必要性に対応している。また、利用状況等はグーグルカレンダーや施設利用願いで管理している。 今後築年数が経つにつれ、施設・設備のメンテナンスが必要になる。	

最終更新日付	2017/5/8	記載責任者	石崎聖英
--------	----------	-------	------

6-23 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
6-23-4 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	5	防火管理規程・校舎管理規程のマニュアルが整備され、防火訓練等を行っている。	常に危機意識を持っていることが大切である。	防火管理規程 校舎管理規程 緊急連絡網 学生生活のしおり
6-23-5 災害時、迅速な学生・教職員の安否確認体制は十分か	4	学生用のメールを用い、災害時の安否の確認を取れる体制が整っている。返信がない場合には教員より直接電話して安否の確認を取っている。	教職員については緊急連絡網を用いて安否確認をする体制を整える必要がある。	
6-23-6 実習時等の事故防止の体制は十分か	4	実習は事前説明がなされ、事故後の対策についても説明がなされている。	常に周知を図ることが大切である。	
6-23-7 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	5	全学生に対し保険の加入をしている。		専修学校教育振興会（学生災害傷害保険、医療分野学生賠償責任保険等） 日本看護学校協議会共済
6-23-8 防災訓練を実施しているか	4	各建物（1・2・3号館）毎に訓練を実施している。	総合的な訓練を実施する必要がある。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日頃より、防災関係設備保守管理は専門業者への点検など委託され、学生保険にも加入して対応している。緊急時の対応なども出来ている。定期的な総合（1, 2, 3号館）防災訓練の実施をする必要がある。	学院の建物が3棟あり、離れて建っているため緊急連絡など遅れないよう伝達網の確認が必要である。

最終更新日付	2017/5/8	記載責任者	石崎聖英
--------	----------	-------	------

基準7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集活動 教育成果の伝達 入学選考 学納金</p> <p>募集活動に関してはこまめに高校訪問やガイダンス等に参加をして募集活動を行っている。また、高校からの依頼があれば出前授業として各学科の専任教員が出向き高校の学生に体験指導を行っている。学校案内についても各学科の特色を打ちだし、就職実績並びに1年次の授業の時間割（タイムスケジュール）や在校生や卒業生のメッセージを載せ、志願者からも希望する学科の特色や将来像が分るように工夫している。</p> <p>入学選考については適切に実施されており定員達成率、昨年比など教職員に情報を共有し学生の確保に努めている。</p> <p>学納金に関しては他校の学納金と差もなく妥当なものとなっている。通常学納金の納付方法は一括、もしくは二分割としている学校が多い中、当学院は保護者等の負担軽減として十分割の支払方法を選択することができるようにしている。</p>	

最終更新日付	2017/5/24	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

7-24 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
7-24-1 学生募集活動は、適正に行われているか	5	進学ガイダンス等に参加し、学生募集活動を行っている。 CMの活用や、高校訪問も積極的に行っている。	特になし	学院案内パンフレット 受付記録(教務システム資料請求・出願者登録) 広告物
7-24-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	5	学校の特色がより分かりやすいように、在校生や卒業生目線の内容を取り入れ、毎年更新している。	特になし	学院案内パンフレット ホームページ
7-24-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	5	メールや電話による問い合わせ対応・進学ガイダンス・高校訪問・個別の学院見学等。	特になし	学院案内パンフレット 受付記録(教務システム資料請求・出願者登録) 各種印刷物
7-24-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	4	進学ガイダンス参加や高校訪問等、積極的に活動している。	定員に満たない学科がある。 もっと本学院に興味を持ってもらえるような活動を行わなければならない。	学院案内パンフレット 受付記録(教務システム資料請求・出願者登録) 各種印刷物
7-24-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	4	高校訪問時にすべて説明している。 その他、学院案内パンフレットに就職実績を掲載。	就職率は100%であるが、資格修得率が若干それを下回る。 自慢して伝えられるような、結果を出さなければならない。	学院案内パンフレット 教務システム ホームページ

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
積極的な学生募集活動を行っている。 より多くの志願者に本学院の魅力を知らってもらうために、年に数回オープンキャンパスを実施している。	年々受験生獲得が困難になってきている。
	最終更新日付 2017/4/19
	記載責任者 石崎聖英

7-25 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
7-25-6 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	入学選考は募集要項に記載している基準により試験を行っている。 面接試験は複数の面接官で行う。 入試判定会議により合否を決定する。	特になし。	募集要項 教務システム
7-25-7 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	全職員がデータで情報を共有し、正確に把握している。	特になし。	教務システム 職員掲示板
7-25-8 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	5	他校の学納金ともさほどの差は無く、妥当なものとなっている。 分割納入制や、学院オリジナルの特待生制度等もあり、学費に関するサポートシステムは整っている。	特になし。	学院案内パンフレット 募集要項

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考にあたっては募集要項どおりに実施し、適正かつ公平に審査している。 学費に関するサポートシステムも整っているため、それらを利用し金銭的負担を軽減することができる。	医療従事者を目指すものとしての資質を重要視し、全ての試験で面接試験を実施している。
	最終更新日付 2017/4/19 記載責任者 石崎聖英

基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
<p>財務基盤 予算・収支計画 監査 情報公開</p> <p>財務については、単年度では概ね安定してきた。しかし、累計では、まだ繰り越し消費支出が超過状態である。</p> <p>収入に関しては、一部の学科を除きある程度定員に近い学生数を確保できているが、退学者の増加（特に1年次）により先の見通しが着かない状況である。現時点で中学生の数が激減している状況であり、数年後には高校卒業者数に反映される。安定した収入を確保するには何らかの学院の特色をだし定員の学生数を確保することが必要となる。</p> <p>予算や収支計画については、年度当初の計画、補正予算（第一次、第二次、第三次）ともに理事会、評議員会に諮り、概ねその範囲内で執行された。</p> <p>監査や情報の公開については、既に規定が策定されており、それに則り実施された。学院のホームページ上で財務状況を公開している。</p>			
最終更新日付	2017/5/24	記載責任者	石崎聖英

8-26 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
8-26-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	入学者並びに新卒者の減少傾向にある。。	学校独自の特色を出し、入学者数を増やす。定員に満たない学科もある為、学科単位での努力も必要。 退学者を減少させるための対策が必要。	決算書
8-26-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	4	補正予算を作成し、理事会評議委員会等で公表している。	管理職以下の教職員にも財務の現状を伝え、学院の現状を把握してもらうべきである。	決算書 補正予算書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>今後は入学者の減少が懸念される。学校の特色、更には学科の強みを対外的にアピールしていき、学生数を安定させることにより中期的な安定を保つ必要がある。</p>	

最終更新日付	2017/4/27	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

8-27 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
8-27-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	3	予算書に基づき有効に使用されているが、熊本地震により一部予算通りの運営ができなかった。	老朽化に伴い突発的な出費が出てくる可能性有。	決算書 予算書
8-27-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	3	補正予算を作成し、定期的に見直しをしているが、平成 28 年度は熊本地震により予算通りの運営が難しい所もみられた。	建物・備品等の老朽化、熊本地震の影響もあり、突発的な出費が出てくる可能性有。	決算書 予算書 補正予算書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
予算書だけでなく補正予算を作成し、予算の見直しをすすめている。今後突発的な出費が出てくる可能性がある。	

最終更新日付	2017/4/27	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

8-28 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
8-28-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	3	決算時には会計監査を行っているが、定期的な会計監査は行われていない。	月次決算や四半期決算など定期的な内部監査を行う必要がある。	
8-28-6 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	5	財務情報（資金収支計算書並びに貸借対照表）はホームページ上に公開している。		ホームページ

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
会計監査においては、決算時のみ行われており、定期的な監査を行う必要がある。	

最終更新日付	2017/4/27	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>法令、設置基準、個人情報、自己点検</p> <p>法令や専修学校設置基準については適正な運営がなされていると評価している。備品数について平成 28 年度の熊本地震での破損や年数経過による損傷等の点検の必要を感じている。</p> <p>個人情報については取扱いについて十分注意している。マイナンバーの取扱いについては取扱責任者を定め管理を行っている。学生の実習に対し患者様等の個人情報を扱うため、事前に指導を行っているがセキュリティ一面には万全の態勢とは言いにくい。</p> <p>自己点検も例年通り実施できた。学校関係者評価委員会も開催し、自己点検結果を評価していただいた。</p> <p>今後の課題としては、個人情報だけでなく法令順守に関しても教職員への研修の機会を設け共通認識をする必要があると感じる。</p>	

最終更新日付	2017/5/26	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

9-29 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
9-29-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	社会通念上の倫理観をもって運営されている。	今後も法令を遵守した運営を心がけ、さらなる倫理観の向上に努める。	コンプライアンスに関する規定。 倫理委員会規則。
9-29-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	啓発活動は実施していないが監査に関しては、担当者レベルで学習している。	勉強会、研修会等の実施。	同上

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係法令、設置基準等に遵守し、社会通念上の規範も逸脱せず適切に運営されているが、課題として、教職員、学生等に対する啓発活動の計画が必要がある。	医療という倫理観を問われる職業人を養成する学校であり、また学校それ自体が、教育を提供するという高い倫理観を問われる分野である。 医療人を育成する学校で質の高い教育を提供する為にも、法令や設置基準を遵守し、適切な運営がなされている。

最終更新日付	2017/4/10	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

9-30 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
9-30-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	書類の保管については鍵のついた棚へ保管しているが、データについては学院内のネットワークの共有化により、全教職員が常時アクセス可能な状態にある。 マイナンバーの取り扱いは、規定を設け、責任者を決め鍵のついた場所に保管している。	教職員ともに個人情報の取り扱いについて、共通認識を確立する必要がある。	個人情報保護管理規定 マイナンバー規定資料
9-30-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	指導、ガイドブック、掲示物で対応している。学生には、実習開始前には必ず取り扱いの指導を行っている。	個人情報保護や取り扱いに関する勉強会等の実施。	同上 誓約書(実習施設との)

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
書類やデータの取り扱い保管に関しては注意を払っているが、全教職員の共通認識されておらず万全ではない。またIT化による個人情報の漏えいが懸念される。	

最終更新日付	2017/4/28	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

9-31 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	*点検の進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
9-31-5 自己点検・自己評価を定期的に実施し、問題点の改善に努めているか	4	自己点検・自己評価指針に従い、教職員全体に執筆依頼をし、学院全体が点検評価に参加している。結果は学科毎にホームページ上で公開している。 授業評価についてはWEB シラバスでの質問・回答を実施している。	専門学校等評価基準書に沿って評価する。授業評価については、8割以上の回答を得られるように努力・改善する。	自己点検・自己評価規程 ホームページ
9-31-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	4	九州中央リハビリテーション学院自己点検・自己評価規程 平成22年2月1日施行	特になし	自己点検・自己評価規程 専門学校等評価基準書
9-31-7 自己点検・自己評価結果は適切に公開されているか	4	自己点検・自己評価の結果は学科毎にホームページ上で公開している。	特になし。	自己点検・自己評価規程 ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学院における教育の充実を図る為、自己点検・自己評価を継続的に実施し、問題点の改善に務めなければならない。 授業評価についても、有意義に活用し、学生の実態に即した教育をどのように発展、維持していくのか、その為の教育のあり方、方法を全体で工夫し実現していく。	

最終更新日付	2017/4/27	記載責任者	石崎聖英
--------	-----------	-------	------

基準 10 社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
<p>教育資源施設活用 ボランティア</p> <p>教育資源施設活用については、転倒予防教室を学内で開催し地域の高齢者（約 90 名）が集まり専任教員だけでなく学生も積極的に参加し交流を図っている。</p> <p>専任教員に対しては行政機関や医療福祉の現場、各種協議会から講師依頼があり積極的に社会活動を行っている。</p> <p>また、各種協議会並びに医療福祉機関からの要請により研修会等の会場として学院を開放し附属設備についても活用いただいている。</p> <p>ボランティア活動については平成 28 年熊本地震発生直後から、個人で参加したり、介護福祉学科においては教員、学生とも積極的に被災地へのボランティア活動に出向いている。また、他の学科においても教員が学生を引率して避難所で各種体操を行った。</p>			
最終更新日付	2017/5/24	記載責任者	石崎聖英

10-32 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	*点検の 進み具合	根拠	課題とその解決方向	参考資料
10-32-1 学校の施設開放他、広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	5	専任教員が医療機関・教育機関等で講師、技術指導等を行っている。また、地域住民の方を対象に転倒予防教室を学院内で開催し学生との交流を図っている。教育編成委員会を定期的に開催し外部の有識者の意見を聞きシラバスの編成に役立てている		講師派遣依頼 教育課程編成委員会 議事録
10-32-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	5	学校の施設や器具等を使用して地域住民の方と転倒予防教室の開催や卒業生や PT・OT の勉強会を実施している。		年報 施設使用願い
10-32-3 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	4	医療関連については掲示物等で対応している。また、外部の講師を招いて、特別講演会などを年に数回開催し、社会共生の意識行なっている。		学生用掲示板
10-32-4 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	3	健康増進委員会を設置し禁煙に関する勉強会やセミナーを実施しているがその他に関する問題についてはポスター掲示などにとどまっている。	情報提供にとどまらず具体的な取り組みを行う必要がある。	
10-32-5 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	医療機関、福祉施設からのボランティア活動に対して自治会を中心にして積極的に参加している。	ボランティアに参加する学生が固定化されている様子も見受けられる	院外活動申請書

* 5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
医療機関や関連企業、地域住民との交流は積極的に行われており、施設を開放して勉強会等の取組を行っている。重要な社会問題対しても積極的に取り組む必要がある。	授業の一環として地域高齢者を対象とした転倒予防教室を定期的に開催し学生と地域住民の方との交流を図っている。ボランティアについては、昨年の熊本地震後のボランティアもクラスで参加した。
	最終更新日付 2017/4/27
	記載責任者 石崎聖英